

ブルーベリー 学給用に納品

掲載日：令和7年8月23日（土）

多摩市の農家で構成する多摩市学校給食連絡協議会は8月上旬、J A東京みなみ多摩支店にブルーベリー52キロを納品し、食品加工会社に引き渡した。8人の農家が出荷したもので、10月に同市内の学校給食でゼリーとして子どもたちに提供する。

同市内はブルーベリーの摘み取り園もあり、栽培が盛ん。地産地消のため毎年、学校給食に出荷しており、去年はジャム用として9人の農家がブルーベリーを出荷した。

J A営農指導担当者は「多摩市はブルーベリーの収穫量が多いので、ゼリーやジャム以外にも子どもたちが喜んでくれる学校給食のメニューが増えるとうれしい」と話した。



ブルーベリーの引き渡しを準備する J A営農指導担当者